

放課後等デイサービス 日中活動プログラム

対象者：主に重度心身障害児・医療ケア児対応

対象年齢：6歳から18歳

重度の障害のある子どもたちが放課後や長期休暇中に利用できる支援サービスです。日中活動プログラムは、子どもたちの発達や社会性の向上を目的とした多様な活動を提供する重要な要素です。子どもたちが楽しく、成長を実感できる場を提供することを目指しています。

弊社独自の取り組みとして、活動するための基礎となる心身機能のケアを大事にしています。看護師や理学療法士が常勤でいますので、活動の基礎となる心身機能を整えてから活動に参加していただいています。

日中活動プログラムの例

1. 感覚統合療法

- 子どもの感覚刺激の調整を目的とした活動。
 - 例：クッションやボールプールでのリラックス。
 - 光の調整が可能なスヌーズレンを使用した過ごし方。
- 目的：感覚過敏や鈍感を和らげ、心身の安定を促す。

2. 身体機能のサポート

- 理学療法士の個別リハビリや、理学療法士の指導のもと身体機能を維持・向上させる運動。
 - 例：個別リハビリテーション・ストレッチや軽い体操。各肢位のポジショニング。
 - 移動練習や立位保持装置を使ったトレーニング。
- 目的：健康維持や身体の柔軟性を高め、活動しやすい身体機能をつくる。また、ポジショニングにて変形予防を図る。

3. コミュニケーション支援

- 言語以外の方法（AAC：拡大代替コミュニケーション）を活用した活動。
 - 例：カードやタブレットを使った意思表示の練習。
 - スタッフや他の子どもたちとの簡単なやり取り。
- 目的：意思疎通の方法を学び、自分の気持ちを伝える力を育む。

4. 生活スキルの練習

- 日常生活で役立つスキルを楽しく学ぶ。
 - 例：歯磨きや手洗いの練習、食事補助のトレーニング。
 - 食事中にスプーンやフォークを使う練習。
- 目的：将来の自立や家族の負担軽減を目指す。

5. リラクゼーションタイム

- 子どもが安心してリラックスできる時間を提供。
 - 例：音楽療法、アロマテラピー、絵本の読み聞かせ。
 - 短時間の静かな休憩。
- 目的：情緒の安定とストレス軽減。

6. 創作活動

- 子どもたちのペースに合わせた手作業の活動。
 - 例：手形アートや簡単な工作、季節の飾り作り。
 - 必要に応じてスタッフが手を添えてサポート。
- 目的：達成感を得て、自己肯定感を高める。

7. 社会体験活動

- 地域社会とのつながりを意識した活動。
 - 例：施設内での模擬買い物、近隣公園での散歩。
 - 季節行事への参加（例：夏祭りやクリスマス会）。
- 目的：社会性を育て、地域とのつながりを感じる。

8. 音楽や視覚的な活動

- 音楽や視覚的な刺激を通じた楽しみを提供。
 - 例：音楽に合わせて手を動かす、映像を見ながら簡単な動作を真似る。
- 目的：感覚刺激と楽しさを通じたリハビリ効果。

9. 特別イベント

- 遠足やお泊まり体験
- お誕生日会
- 地域行事の参加（秋祭りなど）

プログラム作成のポイント

総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、支援プログラム作成に当たっては、

5 領域 20 項目の評価表をもとにし作成します。

- **個別支援計画の作成**
 - 子どもの発達状況や障害特性に基づき、オーダーメイドのプログラムを設計します。
- **安全性の確保**
 - 子どもたちの体調や行動特性に配慮し、安全な環境で活動を行います。
- **小集団または個別対応**
 - 重度の障害を持つ子どもには、特に個別対応や少人数グループでの活動が有効です。
- **専門スタッフの配置**
 - 理学療法士、看護師、保育士などの専門家が常駐しているのでより効果的です。
- **保護者との連携**
 - 家庭での状況を把握し、プログラム内容を共有して一貫した支援をします。